

## 第6章 基本目標ごとの施策（プロジェクト）と重要業績評価指標（KPI）

### 1. 八幡平市で働く

#### 【基本目標1】 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造

##### プロジェクト①

##### 八幡平市の農（みのり）のブランド強化プロジェクト



本市の農業の魅力若者等に一層発信するとともに、生きがいを感じる職場を強化していくため、平成27年度農林水産祭天皇杯を受賞した世界的ブランドである安代りんどうを中心に、基幹産業である農業での一層の生産・供給体制の強化を図ります。また、スマート農業<sup>17)</sup>を推進し、生産物の生産性・品質向上等に取り組みます。

##### 主要施策

1. 世界的・広域的ブランドであるりんどう等の生産体制の強化
2. 農畜産物の戦略的な産地形成と生産性の向上
3. 認定農業等の支援充実

##### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
りんどう販売額	(H30) 1,144百万円	1,350百万円	1,350百万円
野菜販売額	(H30) 972百万円	1,080百万円	1,080百万円
繁殖育成センター（仮称）受入頭数	—	920頭	920頭
認定農業者（経営体）数	(H30) 495件	485件	485件

##### プロジェクト②

##### 地熱エネルギーを活かした地域活性化プロジェクト



豊富な自然環境や資源を活かし自然の恵みと共生する資源循環の取組みを一層進めるため、再生可能エネルギーの拡充と、本市の特色である地熱エネルギーを活かして地域活性化を図り、地熱インフラを産業・観光振興ほか多面的に活用していくとともに、温泉とともに暮らせる魅力を強化していくことにより、定住や移住の促進につなげていきます。

##### 主要施策

1. 地熱エネルギーの活用促進
2. 熱水ハウスを活用したスマート農業<sup>17)</sup>の推進
3. 環境学習プログラムの開発とモデルコース作成による視察の誘致
4. 副読本での学習促進や地熱探検隊の実施による人材育成の推進

##### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
地熱インフラ利用施設数	(H30) 707施設	722施設	722施設
熱水ハウス棟数	(H30) 24棟	74棟	74棟
地熱エネルギー関連の視察受け入れ数	(H30) 2件	(累計) 22件	(累計) 22件

<sup>17)</sup>スマート農業：ロボット技術やICT（情報通信技術）、AI（人工知能）やIoT（モノのインターネット）等の先端技術を活用し、超省力化や生産物の品質向上を可能にする新しい農業

大学や金融機関等との連携により、地元企業のブランド開発や市場拡大、学生の地元就職や人材育成、起業・創業等支援の強化を図るとともに、人材確保が課題となっている地元企業と新しい人材とのマッチング支援など、市内中小企業の人事・総務業務の一部をサポートすることで、企業の負担を軽減し、新しい人材の活用を加速します。

併せて、市内高校等との連携により、市内産業・企業の体験学習や創作体験等を通じて、市内高校への就学や市内での就職の増加を促進していきます。

また、最先端のデジタル技術を活用して企業や社会に対して新たな価値提供ができるデジタル人材の獲得や育成も推進していきます。

### 主要施策

1. 企業誘致に向けた工場適地の紹介
2. 大学等連携によるブランド育成・地元就職支援の体制づくり
3. 起業志民プロジェクト
4. 金融機関等との多様な機関連携による創造的な起業や創業を支援する体制づくり
5. まちの人事部プロジェクト
6. 教育機関等の誘致と受け入れ態勢の整備
7. 市内高校の魅力化支援
8. 市内高校の地域郷土文化学習やキャリア講座、総合学習での地元企業との連携推進
9. 市内高校と地元企業の連携による就職機会の向上
10. インターンシップ制度の充実

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値（R6）	目標値（R8）
企業誘致による企業立地数	(H30) 27社	31社	31社
大学連携による市内企業との連携件数	(H30) 3件	(累計) 10件	(累計) 10件
起業件数	(H30) 5件	(累計) 10件	(累計) 15件
まちの人事部参画企業数	—	20社	20社
まちの人事部事業により正社員採用で人手不足を解消した企業の数	—	(累計) 45社	(累計) 45社
まちの人事部事業により副業人材活用で経営課題を解決した企業の数	—	(累計) 34社	(累計) 34社
教育機関等の誘致数	—	1件	1件
市内高校と市内企業の連携数	—	5社	5社
市内高等学校の生徒数	(H30) 216人	180人	180人
市内高等学校生徒県内就職率	(H30) 80.0%	80.0%	80.0%

## 2. 八幡平市で育てる

### 【基本目標2】 八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む

#### プロジェクト④

#### 若者等定住促進プロジェクト



若者等の定住促進を図るため、拠点地区周辺の環境整備や空き家等の活用を図りつつ、若者や女性、子育て層、市内通勤者等に向けた住環境の整備や多様な働き方に対応する、シェアオフィス<sup>18)</sup>、コワーキングスペース<sup>19)</sup>の整備により居住・移住の支援を進めていきます。

また、一時居住や季節居住等のお試し居住を促進し、定住促進につなげていきます。

#### 主要施策

1. 大更駅周辺及び隣接地域のまちづくり環境整備の推進
2. 空き家バンクの利用促進
3. ひとり親家庭、単身者に対する住まいの支援
4. 魅力ある住宅の整備（菜園付き、街並み景観美化、憩いの交流空間確保など）
5. 若年層、新婚、子育て世代の居住支援
6. 移住支援事業・マッチング支援事業の推進
7. 一時居住、季節居住等のお試し居住の促進
8. サテライトオフィス<sup>20)</sup>の誘致
9. シェアオフィスやコワーキングスペースの整備促進

#### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
JR花輪線大更駅1日当たり乗車人員	(H30) 267人	275人	275人
空き家バンクによるマッチング数	—	(累計) 10件	(累計) 45件
木造住宅建築支援事業利用件数	(H30) 32件	30件	30件
移住支援事業・マッチング事業利用者数	(H31) 0人	(累計) 15人	(累計) 15人
お試し居住事業参加者数	(H30) 114人	(累計) 250人	(累計) 250人
サテライトオフィスの数	(H30) 0件	3件	3件
シェアオフィス、コワーキングスペースの数	(H30) 1箇所	3箇所	3箇所

18)シェアオフィス；同じスペースを複数の利用者によって共有するオフィスのこと、

19)コワーキングスペース；同じ組織や職務に従事しているわけではない人々が同じ空間に集まってそれぞれ個別に仕事を進めるといった働き方をとする場所のこと。

20)サテライトオフィス；企業本社や、官公庁・団体の本庁舎・本部から離れた所に設置されたオフィスのこと。

## プロジェクト⑤ 子育て支援プロジェクト



出生率の向上とともに子育て層・子育て希望層の居住継続・移住促進を図るため、妊娠・出産・子育てへの総合的な支援、子育ての安心や楽しさを共有し支えあう仕組みづくり、親子で安心して遊び・交流できる場など、子育てしやすい環境の充実を図ります。

### 主要施策

1. 待機児童の解消などの保育環境及び小児医療の充実
2. 医療費助成の拡大（高校生まで）
3. マタニティライフサポートの充実（妊娠から出産までの総合的な支援の拡充等）
4. 子育て支援組織や体制の充実
5. 母親同士が集まれる場やコミュニティの創出
6. 職場、地域コミュニティ等による支え合いの仕組み構築
7. 親子で安心して遊び・交流できる環境（屋内交流空間など）の充実

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
保育所待機児童数（年度末）	(H30) 29人	0人	0人
マタニティライフサポート利用者数	(H30) 106人	120人	120人
屋内交流空間等の設置件数	—	1件	1件

## プロジェクト⑥ 出会い・縁づくりサポートプロジェクト



婚姻率の向上とともに、若者・女性の定住・流入を促進するため、出会い・縁づくり・結婚への支援を強化するとともに、結婚の楽しさを共有し支えあう仕組みづくりや若者が主体となって行うイベントの活性化を図ります。

### 主要施策

1. 出会い支援事業（カップリングパーティーなど）の充実
2. 縁づくりをテーマとする観光・スポーツ等のイベントパッケージの強化

### 重要業績評価指標（KPI）

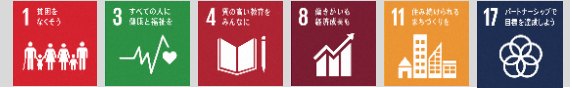
指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
出会い支援イベント参加者数	(H30) 61人	(累計) 360人	(累計) 360人
縁づくりイベントの実施件数	(H30) 2件	(累計) 10件	(累計) 10件
イベントを通じた婚姻組数	(H30) 1組	(累計) 10組	(累計) 10組

### 3. 八幡平市で暮らす

#### 【基本目標3】地域の元気を活かした持続可能なまちづくり

##### プロジェクト⑦

##### 全世代活躍の協働のまちづくりプロジェクト



活気あふれる地域を作るため、八幡平市の豊かな自然の恵みの中で、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域づくりを目指します。また、地元住民や関係人口、企業等が、地域を活性化する取組みに主体的に参加し、コミュニティや絆、愛着や誇り、生きがい等を育てていくような協働への取組みや活動を支援していきます。

##### 主要施策

1. 多世代・多文化交流の機会と場づくりの推進
2. 経験や知識を活かす就労マッチングモデルの確立と普及
3. 移住者と地元住民の多彩な交流や、健康維持活動、地域貢献活動等の促進支援
4. 大学等との連携による生涯学習及び多世代交流支援
5. 健康ビジネスの起業又は誘致による健康づくりの推進
6. 地域を活性化する取組みへの参加促進による活動人口の増大
7. コミュニティ活動や地域貢献活動への参画など、協働への取組み、活動を支援
8. 関係人口と地元住民やコミュニティをつなぐ仕組み（関係案内所）の構築
9. 在外日本人の帰国希望者に向けたPRと受け入れ態勢の構築

##### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
市内で実施される生涯学習プログラムの数	(H30) 572件	550件	550件
市民団体等によるコミュニティセンター施設利用件数	(H30) 6,583件	8,000件	8,000件
在外日本人のお試し居住参加者数	—	(累計) 25人	(累計) 25人

## プロジェクト⑧

### 市民の八幡平市への誇りと愛着醸成プロジェクト



市民が感じている、まちの魅力や良さを発信し、地域の魅力を再発見・再認識することで、地域への誇りや愛着を醸成し、地域資源の活動や文化芸術活動の振興と担い手の育成により、まちの魅力と活力を高めます。

また、学校・市民・企業等と連携しつつ、市内の産業・企業に魅力紹介ツールの強化や、小さい頃からの学習・体験機会の拡充を図るとともに、八幡平市の様々な魅力を発信・体験できるような取組みを推進していきます。

#### 主要施策

1. プロモーションツール作成（まちの魅力や戦略的なまちづくり方向をわかりやすくPRする、手に取って見たい冊子など）
2. 市内企業、市民への情報発信セミナーの開催
3. 市無形民俗文化財の電子映像記録化
4. 地域資源を学ぶ副読本等のツールの作成による、若年世代からの市への誇りと愛着醸成
5. コミュニティスクール<sup>21)</sup>の推進

#### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
プロモーションツールの数	(H30) 2件	5件	5件
市内企業、市民向けセミナー数	—	(累計) 20回	(累計) 20回
電子映像記録化済み無形民俗文化財の数	(H30) 8団体	15団体	15団体

21) コミュニティスクール：学校と保護者や地域の人がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地教行法第47条の6）に基づいた仕組みのこと。

## プロジェクト⑨

### 地域拠点（小さな拠点）等活性化プロジェクト



各地域の活力の維持・増進を図るため、地域の拠点や既存機能の集積等による活性化や、にぎわいや安心・安全な機能の強化に取り組むとともに、既存の公共施設の適正な管理と利活用促進により、地域の拠点となる地区等の環境の充実等を図ります。併せて、住民票等の証明書をコンビニで交付できるサービスなど、デジタル化に取り組むことで、市民の利便性の向上も図ります。

#### 主要施策

1. 地域コミュニティセンターを活かした地域の拠点づくり
2. 病院を拠点とした保健・医療・福祉連携の充実
3. 既存公共施設の利活用促進と管理の適正化

#### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
コミュニティセンター事業への参加者数	(H30) 11,559人	(累計) 55,000人	(累計) 55,000人
コミュニティセンターの利用者数	(H30) 109,323人	(累計) 535,000人	(累計) 535,000人
新規に利活用された既存公共施設の数	—	(累計) 3箇所	(累計) 3箇所

盛岡市等との広域連携により、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積強化、生活関連機能サービスの向上など、圏域が抱える共通課題に対して、有効な連携事業に取り組んでいきます。

### 主要施策

1. 国が定める「連携中枢都市圏の推進に係る要綱」に掲げる下記の都市圏の役割に基づく盛岡市との連携協約により、広域圏市町との連携事業に取り組みます。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

- ①国の成長戦略実施の体制整備
- ②イノベーション支援、戦略産業の育成
- ③地域経済のすそ野拡大
- ④戦略的な観光施策

(2) 高次の都市機能の集積、強化

- ①高度な中心拠点の整備、広域的公共交通網の構築

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ①結びつきやネットワークの強化
- ②圏域マネジメント能力の強化

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
広域連携事業数	(H30) 50事業	50事業	50事業

※1 基準値は、盛岡広域首長懇談会において連携して取り組んでいる事業数。

## 4. 八幡平市に人を呼び込む

### 【基本目標4】八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る

#### プロジェクト⑪

#### 観光客おもてなし体制強化プロジェクト



観光交流人口の増大に向け、リピーター拡大を図るとともに増加している外国人観光客の受け入れ体制の充実を図るとともに、地域資源を活かした観光コンテンツの強化を図ります。

#### 主要施策

1. 持続可能な観光地づくりを目指す「サステイナブルツーリズム<sup>21)</sup>」の実践
2. DMO<sup>22)</sup>を活用した調査分析と地域全体での観光戦略策定
3. 地域資源や伝統文化等を活かした感動体験メニューづくりの企画・実施
4. 学習・体験・合宿など教育旅行の誘致促進
5. 外国人観光客誘致に向けた海外プロモーション展開
6. 外国人材を活用した観光地の魅力化と案内などの情報発信強化
7. 八幡平温泉郷の再魅力化施策の企画推進
8. ナイトタイム観光の満足度の向上とペンション等の継業推進
9. 誘客促進に向けた二次交通網の整備

#### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
教育旅行客入込数	(H30) 21,213人	24,000人	28,000人
教育旅行客受入校数	(H30) 182校	190校	190校
外国人宿泊者数	(H30) 81,366人回	131,400人回	220,000人回
観光分野における情報発信施策への外国人材の活用者数	(H30) 1人	(累計) 5人	(累計) 18人

21)サステイナブルツーリズム；観光地の本来の姿を持続的に保つことができるように、観光地の開発やサービスのあり方を見定め旅行の設定を行うこと。

22)DMO；地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人



## プロジェクト⑫ 広域スポーツイベント・合宿の拠点づくりプロジェクト



多彩な競技用スポーツ施設や、外国人にも人気の高い冬季スポーツのフィールドとしての特性を活かし、スポーツ体験カリキュラムの充実や、広域スポーツイベントや合宿の誘致拡大を図ります。

また、合宿・スポーツ関連施設や豊かな自然を活かし、大学のゼミや研究フィールドの提供や学会等の誘致を進め、利用人口の拡大を図ります。

### 主要施策

1. 冬季スポーツイベントの誘致とイベントを活用した情報発信
2. 広域連携による国際・広域スポーツイベント誘致や、スポーツ合宿の強化等による通年入込み数の増大
3. 大学のゼミ・研究フィールドの提供や学会等の誘致
4. ラグビー場の有効活用をはじめとする、夏季スポーツの誘致強化

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
スポーツイベント開催数	(H30) 12回	(累計) 61回	(累計) 61回
スポーツ関係宿泊者数	(H30) 16,325人	17,900人	17,900人

## プロジェクト⑬ 多様な働き方、暮らし方を受容した新しいまちづくりプロジェクト



二地域居住や多拠点居住、リモートワーク<sup>22)</sup>、ワーキングホリデー<sup>23)</sup>といった新しい働き方をする市外人材の受け入れを推進し、都市と地方の新しい関係性を構築します。

### 主要施策

1. シェアオフィスやコワーキングスペースの利用促進
2. フリーランサーの活動の拠点整備促進、起業支援の促進
3. まちの人事部による地元企業の総務人事部門の悩みの解決促進
4. 副業人材など多様な人材と地元企業のマッチング支援
5. 関係人口創出事業の推進

### 重要業績評価指標（KPI）

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
シェアオフィスの利用者数	(H30) 588人	1,050人	1,300人
副業人材受入企業数	(H30) 2社	(累計) 25社	(累計) 25社
市外からの副業人材受入数	(H30) 2人	(累計) 25人	(累計) 25人
関係人口創出事業実施数	(H30) 6回	(累計) 13回	(累計) 13回

22) リモートワーク：オフィスに通勤しなくても働けるワークスタイルのこと。

23) ワーキングホリデー：日本と協定国の異文化交流や相互理解を促進するため、青年（18歳～25歳、26歳、29歳または30歳）が異なった文化（相手国）の中で休暇を楽しみながら、その間の滞在資金を補うために一定の就労をすることを認める査証及び出入国管理上の特別な制度

